

新・所得倍増論から見た日本経済

小西美術工藝社社長 デービッド・アトキンソン

- * GDPの世界順位は人口で決まる
- * 非常に低い日本の労働生産性
- * 生産性を上げなければ日本経済は衰退へ
- * 問題は女性の働き方にある
- * 高いスキルと連動しない日本の生産性
- * もう成長はいらぬという人の誤り
- * 人口激増時代の名残に甘える経営者
- * 効率性と生産性の違いが分かっていない
- * 日本の経営の評価について
- * 国の借金問題についてはどう考えるか



柴生田 それでは開会いたします。（拍手）

今日はアトキンソンさんに来ていただきました。皆さんここは金融関係の方も多いので、ゴールドマン・サックス時代をよくご存じの方もおられるかと思えます。オックスフォード大学を出られ、日本でゴールドマン・サックスでは金融アナリスト等をされた後、2009年、小西美術工藝社という、美術工芸の修復を担当する会社を引き継がれまして現在に至っております。東洋経済からその関係のご著書を何冊かご出版になり、現在は文化財の問題や、観光の問題といったことで忙しい毎日を過ごしておられるようです。

皆さんは文化財保護とか、それから日本の観光の何が問題とか、これが日本のこれからの将

来と非常につながっているということはあまり意識されておられないと思いますが、日本の低成長と沈滞の原因がどこにあるかという話につながってまいります。今日はぜひじっくりとお話をお聞きいただきたいと思えます。

それではアトキンソンさんよろしくお願いたします。（拍手）

アトキンソン 皆さんこんにちは。小西美術のアトキンソンです。よろしくお願いたします。

まず最初に小西美術のPRをさせていただきたいと思えます。小西美術という会社は、380年前、日光東照宮ができたときに生まれた会社です。それで、379年間、毎年日光の仕事がずっと続けてきた会社でもあります。日光と